

問1 次の計算をなさい。

(ア) $-5 + (-8)$

(イ) $2 - 6 \times (3 - 5)$

(ウ) $\frac{1}{4} - \frac{2}{3}$

(エ) $14a^2b \div 2b$

(オ) $\frac{1}{4}(5x-3) - \frac{1}{8}(7x-6)$

(カ) $\frac{15}{\sqrt{3}} + \sqrt{48}$

(キ) $(x+2)^2 - (x+3)(x-4)$

問2 次の問いに答えなさい。

(ア) $(x-1)(x-4) - 10$ を因数分解しなさい。

(イ) 2次方程式 $(x+5)^2 = 7$ を解きなさい。

(ウ) 次の連立方程式を解きなさい。

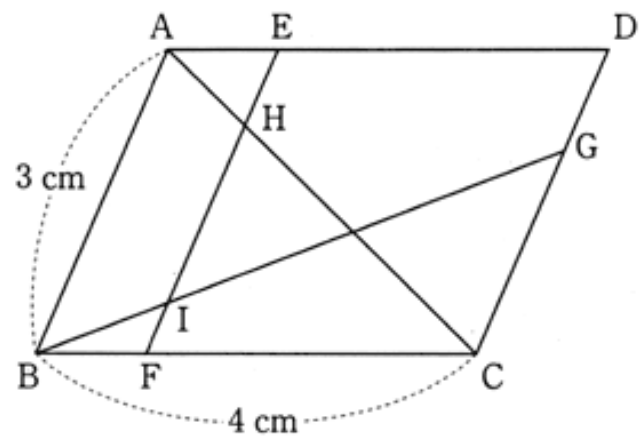
$$\begin{cases} 2x+3y=1 \\ 3x-5y=11 \end{cases}$$

(エ) 関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ について、 x の値が2から4まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

(オ) 右の図のように、 $AB = 3\text{ cm}$, $BC = 4\text{ cm}$ の平行四辺形 $ABCD$ があり、辺 AD 上に点 E 、辺 BC 上に点 F 、辺 CD 上に点 G をそれぞれ $AE = BF = DG = 1\text{ cm}$ となるようにとる。

また、線分 EF と線分 AC との交点を H 、線分 EF と線分 BG との交点を I とする。

このとき、線分 HI の長さを求めなさい。

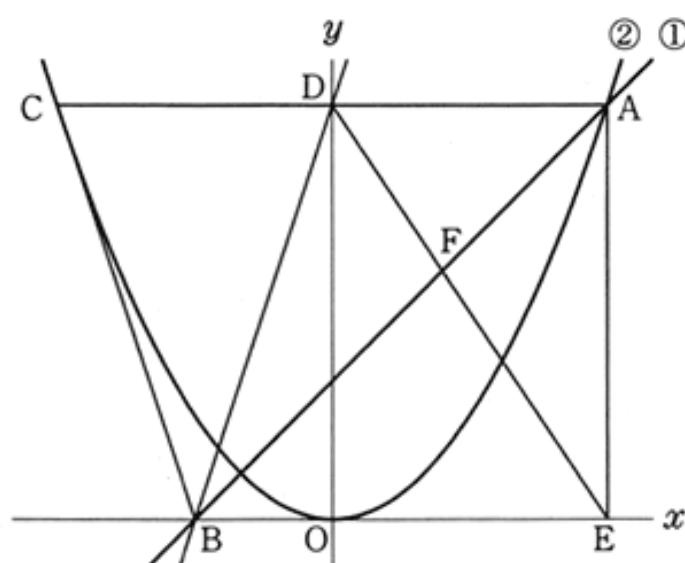


問3 右の図において、直線①は関数 $y = x + 3$ のグラフであり、曲線②は関数 $y = ax^2$ のグラフである。

点Aは直線①と曲線②との交点で、その x 座標は6であり、点Bは直線①と x 軸との交点である。

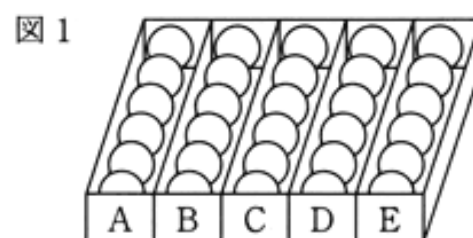
また、点Cは曲線②上の点で、線分ACは x 軸に平行であり、点Dは線分ACと y 軸との交点である。

原点をOとするとき、次の問いに答えなさい。

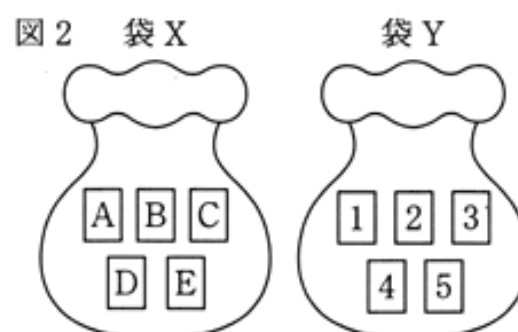


- (ア) 曲線②の式 $y = ax^2$ の a の値を求めなさい。
- (イ) 直線BDの式を求め、 $y = mx + n$ の形で書きなさい。
- (ウ) 点Eは x 軸上の点で、線分AEは y 軸に平行である。直線①と線分DEとの交点をFとすると、三角形AEFと三角形BCDの面積の比を最も簡単な整数の比で表しなさい。

問4 右の図1のように、A, B, C, D, Eの文字が1つずつ書かれた5個の箱が左からアルファベット順に横一列に並べて置いてあり、それぞれの箱の中には、同じ大きさの玉が6個ずつ入っている。



また、図2のように、2つの袋X, Yがあり、袋Xの中にはA, B, C, D, Eの文字が1つずつ書かれた同じ大きさの5枚のカードが入っており、袋Yの中には1, 2, 3, 4, 5の数字が1つずつ書かれた同じ大きさの5枚のカードが入っている。



2つの袋X, Yの中からカードをそれぞれ1枚ずつ取り出し、それらのカードに書かれた文字や数によって、次の①, ②の操作を順に行うことにする。

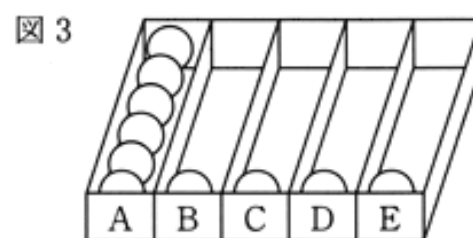
- ① 袋Xの中から取り出したカードに書かれた文字と同じ文字が書かれた箱と、その箱より右側に置かれたすべての箱を選ぶ。
- ② ①の操作で選ばれたすべての箱の中から、袋Yの中から取り出したカードに書かれた数と同じ個数だけ、玉をそれぞれ取り除く。

例

袋Xの中から取り出したカードに書かれた文字がB, 袋Yの中から取り出したカードに書かれた数が5のとき、

- ① Bと書かれた箱と、その箱より右側に置かれたC, D, Eと書かれた箱を選ぶ。
- ② ①の操作で選ばれた4つの箱の中から、玉をそれぞれ5個ずつ取り除く。

この結果、玉は図3のように残っている。



いま、図1の状態、図2の2つの袋X, Yの中からカードをそれぞれ1枚ずつ取り出すとき、次の問いに答えなさい。ただし、それぞれの袋の中から、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

- (ア) Bと書かれた箱の中に残っている玉が5個となる確率を求めなさい。
- (イ) 5個の箱の中に残っている玉の個数の和が3の倍数となる確率を求めなさい。

問5 平行な2直線 p , q があり, それぞれの直線上に異なる点が n 個ずつある。これらの点を両端とする線分について, 同じ直線上のとなりあった2点を両端とする線分, および直線 p 上の点と直線 q 上の点を両端とする線分を考え, その線分の本数の和を調べることにする。ただし, n は2以上の整数とする。

下の表は, $n = 2$, $n = 3$ のときの図の例と線分の本数の和をそれぞれ示したものである。

n の値	2	3
図の例		
線分の本数の和	6	13

このとき, 次の問いに答えなさい。

- (ア) $n = 4$ のとき, 線分の本数の和を求めなさい。
- (イ) 線分の本数の和が253のとき, n の値を求めなさい。

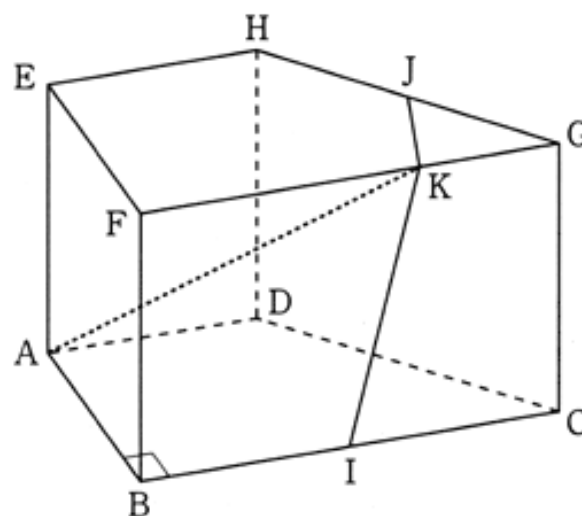
問 6 右の図は、 $AD \parallel BC$, $AD = 3 \text{ cm}$, $BC = 6 \text{ cm}$,
 $\angle ABC = 90^\circ$ の台形 $ABCD$ を底面とし、 $AE = BF$
 $= CG = DH = 4 \text{ cm}$ を高さとする四角柱であり、
 四角形 $ABFE$ は正方形である。

また、2点 I , J はそれぞれ辺 BC , 辺 GH の中
 点である。

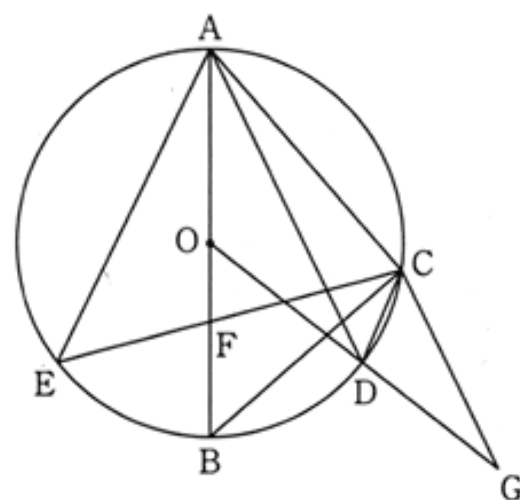
このとき、次の問いに答えなさい。

(ア) この四角柱の表面積を求めなさい。

(イ) この四角柱の表面上に、点 I から辺 FG に交わるように点 J まで線を引く。このような線のうち、
 長さが最も短くなるように引いた線が、辺 FG に交わっている点を K とするとき、2点 A , K 間の
 距離を求めなさい。



問7 右の図のように、線分 AB を直径とする円 O の周上に、
 2点 A, B とは異なる点 C を $AC > BC$ となるようにとり、
 点 A をふくまない \widehat{BC} 上に2点 B, C とは異なる点 D をとる。
 また、点 C をふくまない \widehat{AB} 上に点 E を $\angle BAD = \angle BAE$
 となるようにとり、線分 AB と線分 CE との交点を F とする。
 さらに、線分 OD の延長上に点 G を $AD \parallel CG$ となるよう
 にとる。
 このとき、次の問いに答えなさい。



(ア) 三角形 AEF と三角形 GCD が相似であることを次のよう
 に証明した。空欄にあてはまるものとして、 には最も適する弧を記号 $\widehat{\quad}$ を用いて書き、
 には最も適する角を記号 \angle を用いて書き、 ~ には【選択群】から最も適す
 るものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を書きなさい。

[証明]

$\triangle AEF$ と $\triangle GCD$ において、

まず、 に対する円周角は等しいから、

$$\angle AEC = \angle ADC$$

よって、 $\angle AEF = \angle ADC$ ①

また、 から、

$$\angle ADC = \angle GCD$$
②

①, ②より、 $\angle AEF = \angle GCD$ ③

次に、仮定より、

$$\angle BAE = \angle BAD$$

よって、 $\angle EAF = \angle OAD$ ④

また、 $\triangle OAD$ は $OA = OD$ の二等辺三角形だから、

$$\angle OAD = \text{$$
⑤

さらに、 から、

$$\angle ODA = \angle OGC$$
⑥

④, ⑤, ⑥より、 $\angle EAF = \angle OGC$

よって、 $\angle EAF = \angle CGD$ ⑦

③, ⑦より、 から、

$$\triangle AEF \sim \triangle GCD$$

【選択群】

1. 対頂角は等しい
2. 平行線の同位角は等しい
3. 平行線の錯角は等しい
4. 3組の辺の比が等しい
5. 2組の辺の比が等しく、その間の角が等しい
6. 2組の角がそれぞれ等しい

(イ) $\angle BAC = 41^\circ$, $\angle BCD = 26^\circ$ のとき、 $\angle AFE$ の大きさを求めなさい。

(問題は、これで終わりです。)

Ⅲ 数学 正答表並びに採点基準 (平成22年度)

問1	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	-13	14	$-\frac{5}{12}$	$7a^2$

(オ)	(カ)	(キ)
$\frac{3}{8}x$	$9\sqrt{3}$	$5x+16$

問2	(ア)	(イ)	(ウ)
	$(x+1)(x-6)$	$x = -5 \pm \sqrt{7}$	$x = 2, y = -1$

(エ)	(オ)
-3	$\frac{7}{4}$ cm

問3	(ア)	(イ)	(ウ)
	$a = \frac{1}{4}$	$y = 3x+9$	$\triangle AEF : \triangle BCD = 3 : 5$

問4	(ア)	(イ)
	$\frac{2}{25}$	$\frac{9}{25}$

問5	(ア)	(イ)
	22	$n = 15$

問6	(ア)	(イ)
	108 cm ²	$4\sqrt{3}$ cm

問6(イ)は $\sqrt{48}, 2\sqrt{12}$ に2点を与える。

問7	(ア)					(イ)
	(a)	(あ)	(b)	(い)	(う)	$\angle AFE = $ <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">105</div> ^o
	\widehat{AC}	3	$\angle ODA$	2	6	

問7(ア)は(a)と(あ)がともに正答で1点, (b)と(い)がともに正答で1点, (う)が正答で1点を与える。

問	配点
1	(ア)~(エ) 各1点 計4点
	(オ)~(キ) 各2点 計6点
2	各2点 計10点
3	各2点 計6点
4	各3点 計6点
5	各3点 計6点
6	各3点 計6点
7	各3点 計6点
計	50点